

さくらぐみ5・6学年 道徳学習指導案

2025年2月8日土曜日 2校時

町田市立小山小学校

指導者 T1: 喜多村 董

T2: 関根 史朗

1. ねらい 家族が愛情をもって接していることを知ることを通して、家族の一員として家庭生活に積極的にに関わり、楽しい家庭を作ろうとする態度を育てる
「家族愛、家庭生活の充実」(学習指導要領内容 C-15)

2. 教材名 「お母さんのせいきゅう書」
(出典 東京書籍「新訂 新しいどうとく」第4学年)

3. 展 開

	学習活動 (主な発問と予想される児童・生徒の反応)	○指導上の留意点 ☆・・・評価
導 入	1. 教材への関心を高める設問を考える 「お家の人が出て良かったなと思うのはどんなときですか。」	○思い出しやすいように、日常生活のいくつかの場面をイラストで見せる
展 開	2. 教員の教材の朗読を聞く 3. 「お母さんのせいきゅう書」について話し合う (1) お母さんに請求書を渡したとき、 たかしはどんなことを考えていたでしょうか。 (2) お母さんからの請求書を見たとき、 たかしはどんなことを考えたでしょうか。 (3) お母さんのせいきゅう書はなぜ0円だったのでしょうか。 4. 自分を振り返る設問を考え、記入する 「家族との生活でどんなことを大切にしたいと思いますか」	○教科書の挿絵を見せ、話の流れが分かりやすいようにする ○全体でなかなか意見が出ない場合は、近くの児童同士で話し合う時間を設ける ○授業を通して家族が愛情をもって接してくれていることを知り、家族に温かい心で接し、親切にしようとする心情を深めるために自身を振り返る時間を設け、グループフォームに記入する ☆家族の一員として家庭生活に積極的にに関わり、楽しい家庭を作ろうと考える
終 末	5. 教師の説話	○家族の一員として家庭生活に積極的にに関わり、楽しい家庭を作ろうとする心情を深められるような教師の説話をする

※本時は学年の児童の実態に基づき設定されました。

授業内容やねらいとされることについて、ぜひご家庭でも話をする機会を設けていただければと思います。よろしくお願いします。